

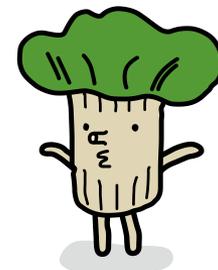
荒川化学工業の中期経営計画

Speciality Chemical Partner



2008年3月28日

荒川化学工業株式会社



目次

1. 荒川化学工業について

- 1. 会社概要
- 2. 経営方針
- 3. 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ
- 4. 事業の概要

2. 荒川化学工業の事業と製品

- 1. 製紙用薬品事業
- 2. 化成品事業
- 3. 機能材料事業
- 4. 光電子材料事業

3. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

- 1. 業績目標達成状況
- 2. 新規事業
- 3. 海外展開
- 4. 海外拠点

4. 第2次中期5カ年経営計画の概略

- 1. 業績目標
- 2. 基本方針
- 3. キャッチフレーズ
- 4. 事業別目標
- 5. 伸長事業の製品群
- 6. 海外展開
- 7. 株主還元策

5. 株式情報

1. 荒川化学工業について

1-1 会社概要

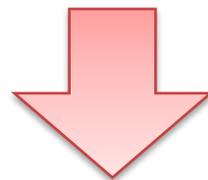
| | |
|-------|------------------|
| 商号 | 荒川化学工業株式会社 |
| 所在地 | 大阪府中央区平野町1丁目3番7号 |
| 代表者 | 取締役社長 末村 長弘 |
| 創業 | 明治9年（1876年） |
| 会社設立 | 昭和6年（1931年） |
| 資本金 | 31億2,830万円 |
| 決算期 | 3月 |
| 上場取引所 | 東証・大証一部 |
| 証券コード | 4968 |

1. 荒川化学工業について

1-2 経営方針

荒川化学グループのビジョン

ロジックに代表される地球に優しい素材を通して
社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー



株主、取引先、社員および社会に貢献して
企業価値を高めていく

1. 荒川化学工業について

1-3 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

①生松脂採取

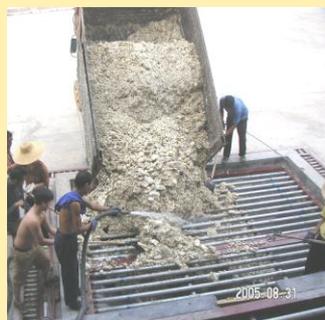


生松脂採取

*松の木に溝をつけ、滲み出してきた松脂を収集する

②生松脂の受入～ロジンの精製

(広西荒川化学工業有限公司：中国に設立したロジン生産会社)



生松脂入荷

精製



ロジン取出し



ロジン

③荒川化学グループへ出荷

- ・製紙用薬品
- ・印刷インキ用樹脂
- ・塗料用樹脂
- ・合成ゴム重合用乳化剤
- ・その他
(ガムベース、電子材料関連分野用の樹脂など)

*ロジンは、様々な用途の製品の製造にかかせない材料



広西荒川化学 全体



ロジン精製プラント外観

1. 荒川化学工業について

1-4 事業の概要

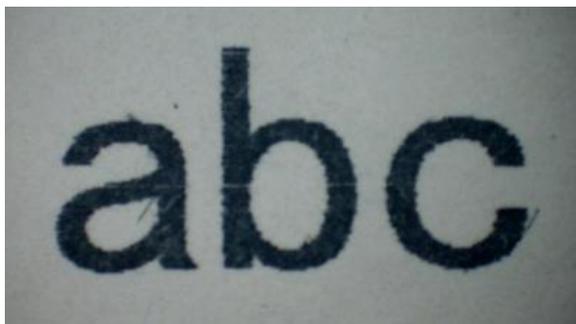


2. 荒川化学工業の事業と製品

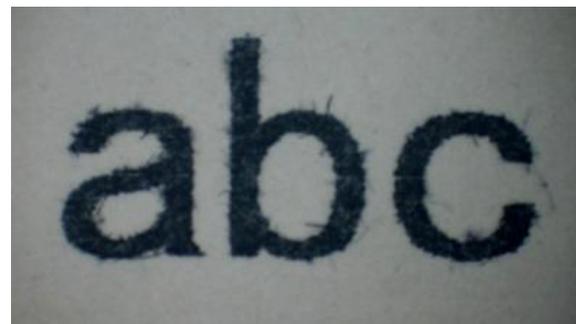
2-1 製紙用薬品事業

・サイズ剤

インキのニジミを抑えるために、紙に加えられる薬品。
コピー用紙や新聞紙など、印刷される紙にはほとんど混ぜられています。



サイズ剤あり



サイズ剤なし

・紙力増強剤

ダンボールなど、紙の強度を必要とする紙
に加えられる薬品。紙を破れにくくしてく
れます。



2. 荒川化学工業の事業と製品

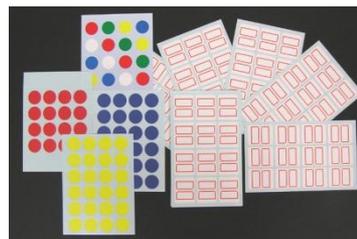
2-2 化成品事業

・印刷インキ用樹脂

インキを紙に密着させたり、つやを出したりするために、当社の製品が使われています。



- ・粘着・接着剤のほか、塗料、タイヤ、チューインガムなどにも当社の製品が使われています。



化成品事業の注目製品！

超淡色ロジン（パインクリスタル）

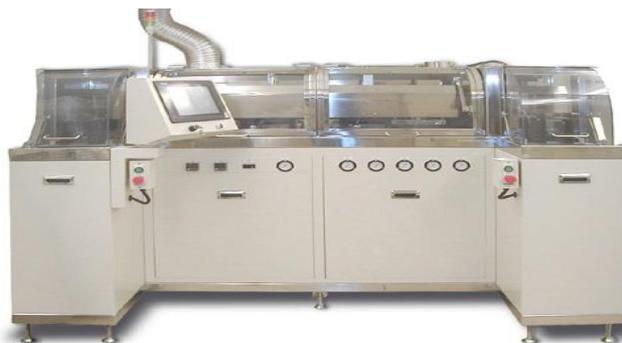
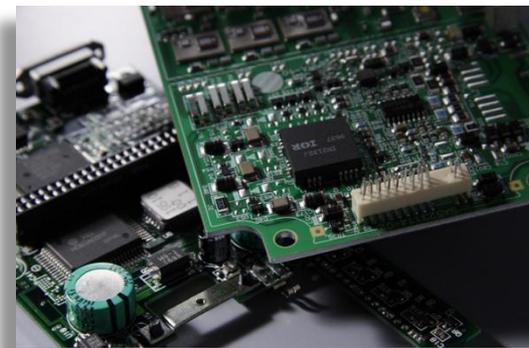
医療用のハップ剤の粘着成分材料など、さまざまな用途で、注目されています。



2. 荒川化学工業の事業と製品

2-3 機能材料事業

- 精密部品洗浄用洗浄剤・洗浄機械**
 情報通信や、電子材料関連分野などに
 使われる精密部品の洗浄に、
 当社の洗浄剤・洗浄機械が使われています。
- 機能材料事業では、その他にも有害な鉛
 を使用しない、環境に配慮したはんだや、
 ファインケミカル製品などの開発・販売
 を推進しています。**



2. 荒川化学工業の事業と製品

2-4 光電子材料事業

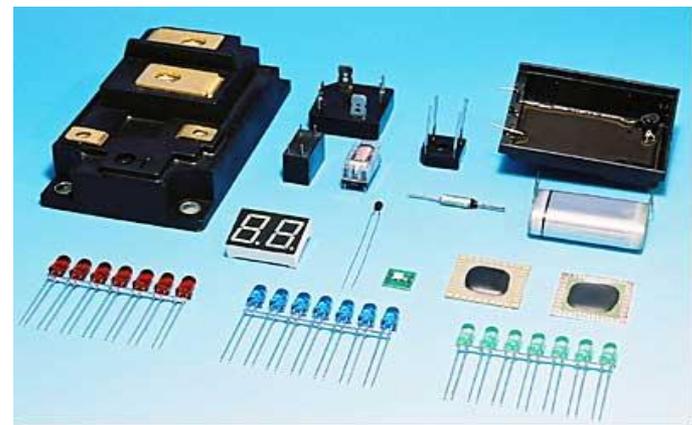
・ 光硬化型樹脂

光を当てると瞬時に固まる樹脂、製品名「ビームセット」。携帯電話などのコーティングとして使用され、成長を続けています。



・ ペルノックスの電子材料用配合製品

優れた配合技術を活かした電子・電気部品の封止用樹脂や導電性機能を持つ樹脂など。



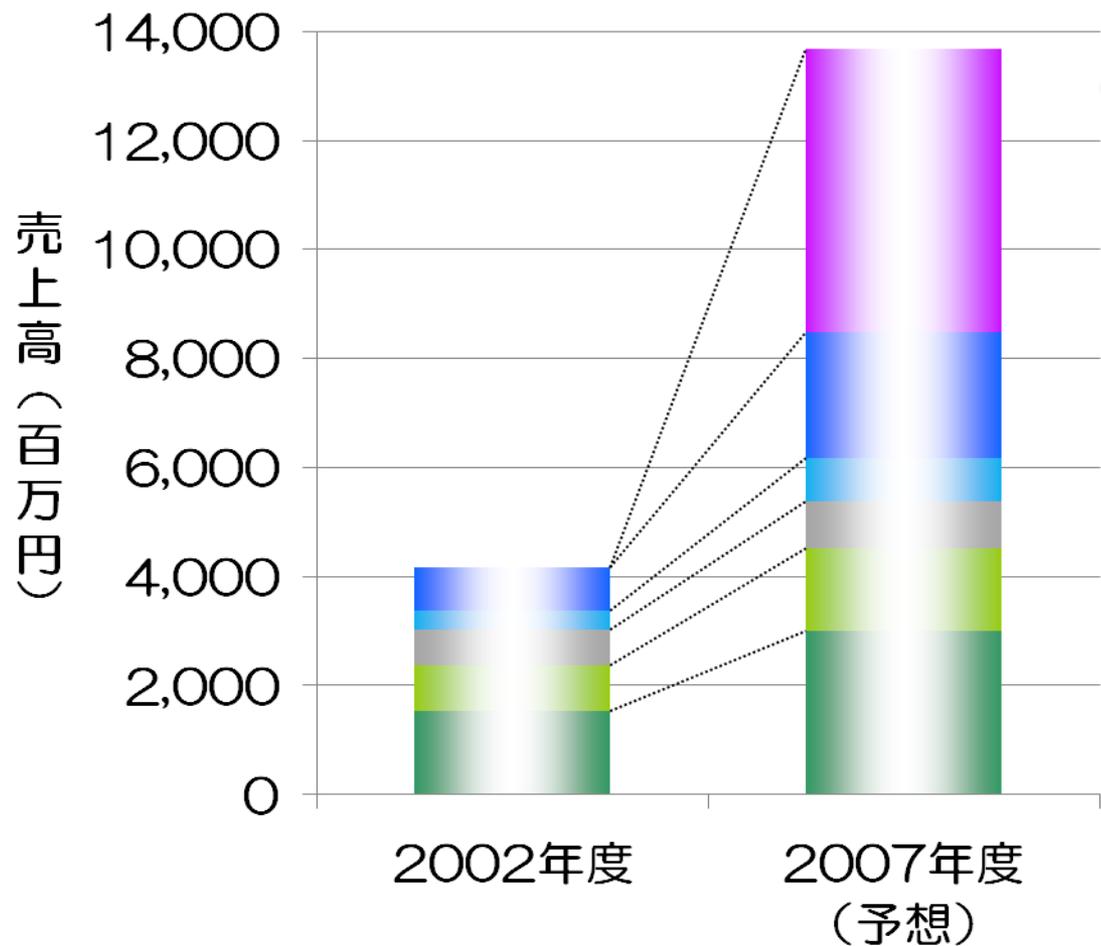
3. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

3-1 業績目標達成状況

| (単位：百万円) | 2002年度 | 2007年度 (予想) | 2007年度 (目標) | 5カ年 伸率% |
|----------|--------|----------------|----------------|------------|
| 売上高 | 43,173 | 66,000 | 57,000 | +52.9 |
| 営業利益 | 2,495 | 3,100 | 3,800 | +24.2 |
| 経常利益 | 2,559 | 3,350 | 4,000 | +30.9 |
| 当期純利益 | 746 | 1,950 | 2,200 | +161.4 |
| 経常利益高率 | 5.9% | 5.1% | 7.0% | |

3. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

3-2 新規事業



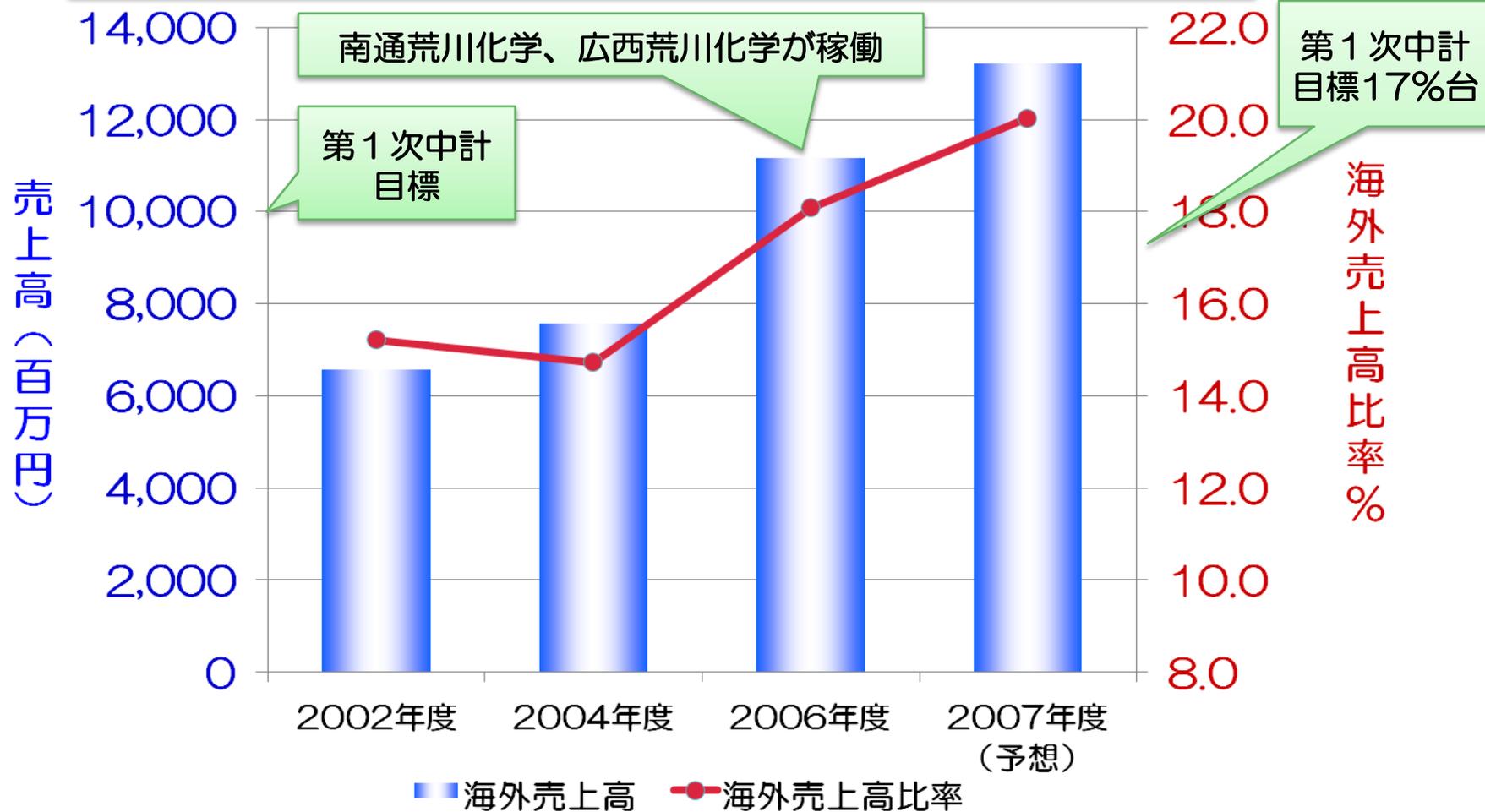
各製品とも順調に増加、
ペルノックスのグループ加
入もあり、3倍超に成長

- 電子材料用配合製品
- 機能性ファインケミカル製品
- 精密部品洗浄機械
- 精密部品洗浄剤
- 超淡色ロジン
- 光硬化型樹脂

3. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

3-3 海外展開

2006年度に第1次中計の目標を前倒して達成



3. 第1次中期5カ年経営計画の振り返り

3-4 海外拠点

※ マークは製造拠点

※ 図中の数字は設立年

1982
★ 米国荒川 ★

1998
★ 欧州荒川 ★

<中国拡大図>

2004
南通荒川
(製紙用薬品)

2003
上海駐在員事務所

1967
台湾荒川
(製紙用薬品・工業用樹脂)

タイ荒川
(合成ゴム重合用乳化剤)
1995

2004 広西荒川
(ロジン、ロジン誘導体)

廈門荒川 1996
(粘接着、インキ)

1995 梧州荒川
(粘接着、製紙用薬品)

香港荒川 1995

4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

4-1 業績目標

2012年度目標： 売上高 850億円
 経常利益 55億円
 ROE 7.0%以上

| (単位：百万円) | 2007年度 (予想) | 2010年度 (目標) | 2012年度 (目標) | 5カ年 伸率% |
|----------|----------------|----------------|----------------|------------|
| 売上高 | 66,000 | 76,000 | 85,000 | +28.8 |
| 営業利益 | 3,100 | 4,200 | 5,200 | +67.7 |
| 経常利益 | 3,350 | 4,300 | 5,500 | +64.2 |
| 当期純利益 | 1,950 | 2,550 | 3,300 | +69.2 |
| ROE | 5.4% | | ≥7.0% | |

4. 第2次中期5ヵ年経営計画の概略（2008～2012年度）

4-2 基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

1) 基盤事業のさらなる拡大

徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択

2) 伸長事業の拡大

高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ

3) 新規事業・新技術の創生

基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保

4) 経営・事業基盤の整備と強化

事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営へ

4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

4-3 キャッチフレーズ

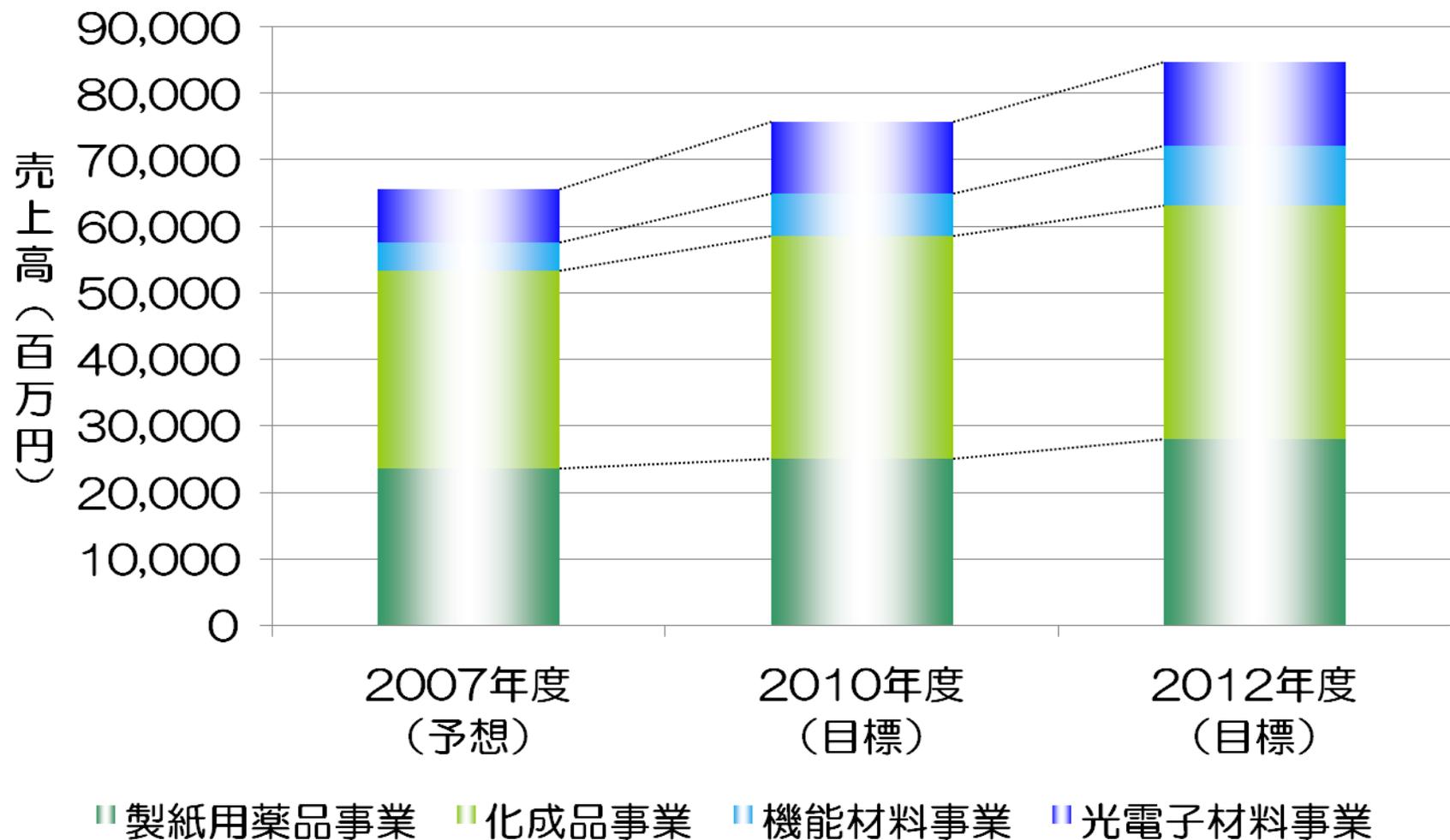
「PINE DASH 1000」

～ 躍動、輝ける未来のために ～

- ・「**PINE**」： 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ
本業重視を継続する
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り
- ・「**DASH**」： **Dynamic Action for Shining History**
躍動、輝ける未来のために
- ・「**1000**」： 当社創業140周年となる2016年度には、
企業成長のひとつのベンチマークである
売上高1,000億円を超える姿でありたい

4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

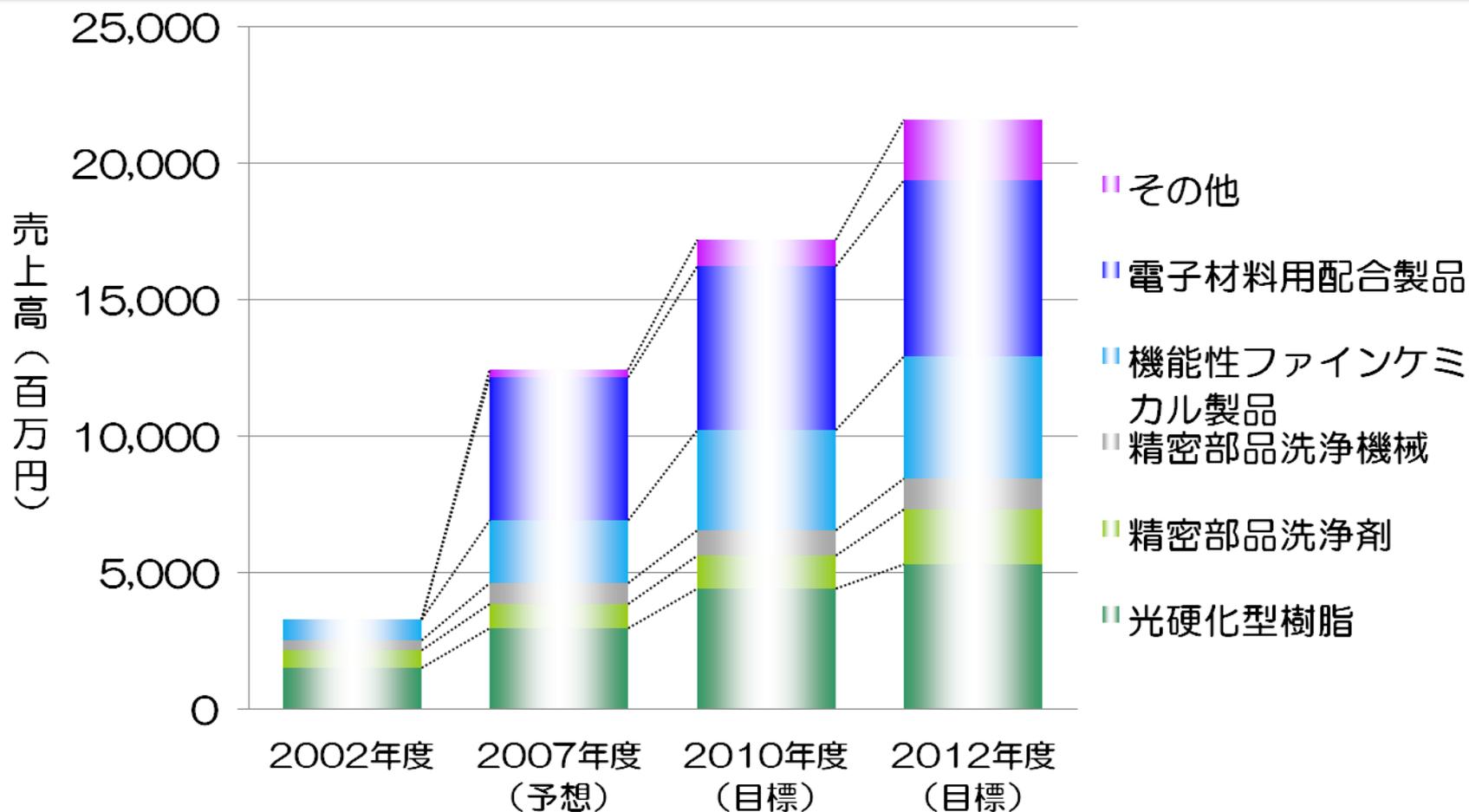
4-4 事業別目標



4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

4-5 伸長事業の製品群

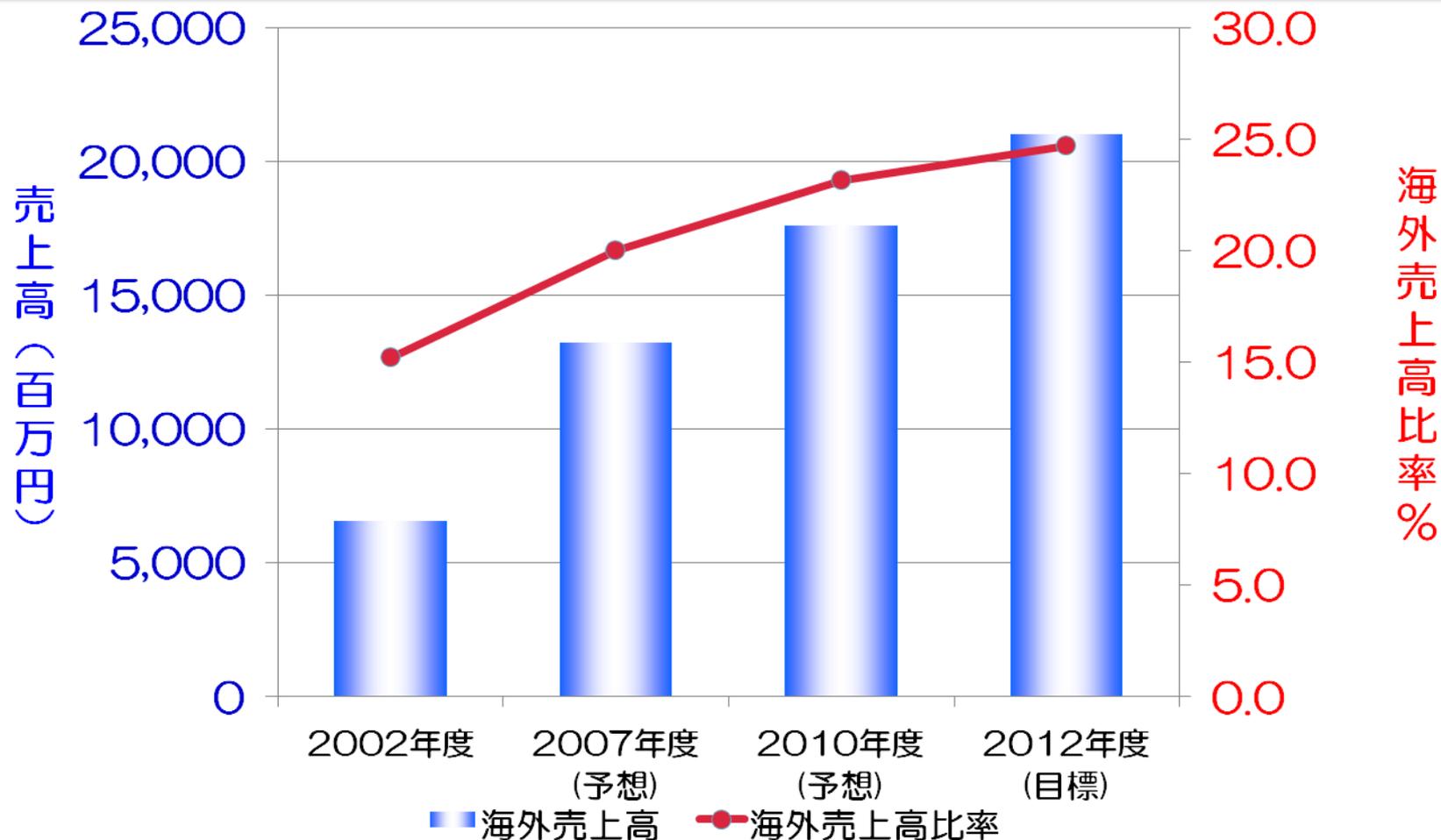
全製品を拡大、2012年度に売上高200億円突破を目指す



4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

4-6 海外展開

基盤・伸長とも拡大、2012年度海外売上高200億円突破を目指す



4. 第2次中期5カ年経営計画の概略 (2008~2012年度)

4-7 株主還元策

基本方針

安定的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組む

連結配当性向

- ・ 25%程度を目処とした安定配当の維持に努める
- ・ 将来的には30%以上を目指す

(参考) 1株あたり配当金および配当性向推移

| | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 (予) |
|------------------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 一株あたり 配当金 (円) | 18.00 | 20.00 | 20.00 | 24.00 | 24.00 |
| 配当性向 (連結) | 18.6% | 17.6% | 24.4% | 29.5% | 24.8% |

5. 株式情報

| | |
|--------|--------------------------------|
| 証券コード | 4968 |
| 決算期 | 3月 |
| 上場取引所 | 東証・大証一部 |
| 単元株 | 100株 |
| 株価 | 1,175円 (2008/3/26 終値) |
| 最低所要金額 | 117,500円 (2008/3/26 終値より計算) |
| 配当利回り | 2.04% (2008/3/26 終値より計算) |

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社

